

九月三日の宴の歌二首

四二二二番

このしぐれ いたくな降りそ 我妹子に 見せむ
がために 黄葉取りてむ

四二二三番

あをによし 奈良人見むと 我が背子が 標めけ
む黄葉 地に落ちめやも

四二二四番

朝霧の たなびく田居に 鳴く雁を 留め得むか
も 我がやどの萩

四二二五番

あしひきの 山の黄葉に しづくあひて 散らむ
山路を 君が越えまく